

博士前期課程（修士） / 助産看護学領域 / 助産看護学分野

科目コード：280006

助産診断・技術特論演習Ⅰ（概論・妊娠期）

Midwifery diagnosis / technology special exercise I (Introduction・Pregnancy period)

担当教員	米田 昌代、亀田 幸枝、濱 耕子、曾山 小織、河合美佳、野沢ゆり乃、平吹 信弥				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	3	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	60		
Keywords	妊娠期、助産診断、助産過程、健康診査、フィジカルイグザミネーション、ME機器				
学習目的・目標	<p>1 ケアの対象となる人々を理解するうえで必要な概念、考え方を説明できる。</p> <p>2 助産診断の意義と考え方、マタニティサイクル各期における診断・アセスメント視点を説明できる。</p> <p>3 妊娠期の対象の身体的、心理社会的変化と適応状態を診断し、助産ケアを立案できる。</p> <p>4 妊娠期にかかわる基礎助産技術、態度を修得できる。</p> <p>5 ME機器を利用した母児管理の技法について説明できる。</p>				
授業計画・内容					
回	内容	授業方法	担当		
1-3	<p>ガイダンス</p> <p>助産診断・技術学の概念、助産診断の定義・意義・範囲・診断類型・過程</p> <p>助産師が行うケア</p> <p>対象理解とケア論の考え方、対象の見方、女性の意思決定を支えるしくみ</p> <p>Women-centered care、Family-centered care</p>	<p>講義</p> <p>講義</p> <p>講義</p>	<p>米田・亀田・濱</p> <p>亀田</p> <p>亀田</p>		
4	妊娠期の助産診断に必要な知識、診断・アセスメント視点	講義	米田		
5-14	妊娠期の助産過程の展開；妊婦健康診査（PBL）	演習	米田・河合・野沢		
15-20	<p>妊娠期のフィジカルイグザミネーション</p> <p>問診、身体計測・骨盤計測（解剖含む）</p> <p>頭部・頸部胸部、四肢</p> <p>腹部（視診・触診・聴診・胎児心拍モニタリング等）、生殖器（スメア含む）</p>	講義・演習	米田・河合・野沢		
21-26	妊婦健康診査のシミュレーション学習	演習・討議	米田・河合・野沢		
27-30	<p>産科ME機器の検査技術と診断</p> <p>超音波診断装置</p> <p>胎児心拍モニタリングの判読と対応</p>	講義・演習	<p>米田・河合・野沢</p> <p>平吹・米田</p>		
	定期試験				
教科書	<p>助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ：医学書院</p> <p>助産師基礎教育テキスト4・7：日本看護協会出版会</p> <p>助産外来の健診技術 根拠にもとづく診察とセルフケア指導：医学書院</p> <p>助産師のためのフィジカルイグザミネーション：医学書院</p> <p>新版 助産師業務要覧 第3版 [Ⅱ 実践編]：日本看護協会出版会</p> <p>産科診療ガイドラインー産科編2017ー：日本産婦人科学会</p> <p>病気がみえる vol.10 産科 改定第3版：MEDIC MEDICA</p>				
参考図書等	<p>助産学講座 基礎助産学[1] 助産学概論：医学書院</p> <p>最新産科学 正常編：文光堂</p> <p>最新産科学 異常編：文光堂</p> <p>今日の助産：南江堂</p> <p>助産師と研修医のための産科超音波検査：診断と治療社</p> <p>臨床助産テキスト 妊娠：メディカ出版</p> <p>図説CTGテキストー助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)®レベルIII認証CTG必須研修対応テキスト：メヂカルビュー社</p>				
評価指標	定期試験60%、演習・討議40%				
関連科目	<p>助産学概論、助産診断・技術特論演習Ⅱ（分娩期）、助産診断・技術特論演習Ⅲ（産褥期・新生児期・乳幼児期）、助産診断・技術特論演習Ⅳ（ハイリスク妊産婦）</p> <p>助産実践実習Ⅰ（正常・継続）、助産実践実習Ⅱ（ハイリスク・継続）</p>				

教員から学生への
メッセージ

PBLが始まるまでに妊娠期の基礎的知識を学習しておきましょう。
臨床でよく遭遇する場面をイメージしながら、必要な知識、技術、態度を身につけていきましょう。